

サロン活動のご紹介

「おしゃべり」カフェ

北栄地区

〔場所〕北32条会館

〔内容〕おしゃべり、体操、ゲームなど

〔日時〕毎月第1月曜日

「おしゃべり」カフェは会場となる北32条会館を運営する7つの町内会が主催しているサロンです。安心して住み慣れた地域で暮らしていけるように、外出・交流の機会として始めました。現在も皆さんでお茶やお菓子をいただきながら、おしゃべりを楽しんでいます。

体操や脳トレ、ゲームなども楽しむ時間があり、和気あいあいと笑顔があふれる場となっています。



サロンを開催したい!参加したい!などの
お問い合わせもお待ちしています。

日常生活自立支援事業のご紹介

認知症や知的・精神障がいなどにより、一人では日常生活を送ることに不安がある方が、地域で安心して生活を継続できるように支援する事業です。支援の内容としては、福祉サービスの利用に関わる手続き、情報提供の他、日常的な金銭管理や財産保全(貸金庫で重要書類等をお預かりする)など、利用を選択できるサービスも提供しています。東区社協には専門員として職員1名が配置され、業務契約を結んだ生活支援員と連携しながら利用者への支援を行っています。

生活支援員として地域で活躍している方にお話を伺いました



生活支援員 今 嗣王 さん

生活支援員の活動に興味がある方は、
ぜひお問い合わせください。

Q1. 簡単に自己紹介をお願いします。

スキージャンプのレジェンド葛西選手と同じ下川町の出身です。年齢は75歳で令和元年6月から東区の生活支援員として活動しています。

Q2. 活動を始めたきっかけは?

退職後、世の中に少しでも役立つことをしたいと思っていた中、これならできと思ったのが生活支援員です。自分が元気な間は生活支援員として活動を続けたいと思っています。

Q3. 現在の活動状況は?

2名の利用者を担当し、月に4回利用者のご自宅を訪問して預貯金の払出しや公共料金の支払いなどの支援をしています。

Q4. 活動で心がけていることは?

いつも利用者の立場に立ち、誠意を持って活動しています。利用者の身体状況の変化や生活環境をそれとなく観察し、より良い在宅生活を送れるように努めています。